※令和４年度以降入学生用

学校番号	3038

令和５年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	MOUSA 1　（教育芸術社）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「歌う」「楽器で演奏する」「音楽を鑑賞する」「楽曲を創作する」の４つの分野を年間通じて学習します。学習の到達度は実技テストやノート提出などで評価します。クラスメートとの実習を通じてみなさんの感性を豊かにしていきます。
音楽が生涯を通じて心の支え、生きていく力となるよう願っています。

２　学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通じて、音楽的な見方、考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質、能力を育成することをめざす。
(a) 創意工夫を生かした表現をするために必要な技能を身につける。
(b) 自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫できるようにする。
(c) 主体的、協働的に表現および鑑賞など幅広い活動に取り組もうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・曲想と音楽の構造や歴史的背景および音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけ、歌唱・器楽・創作で表現している。	音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、その働きを感受したりしながら、それらのことを自己のイメージとしてどのように音楽表現として結びつけるかを考えるために、音楽の美しさ、よさを自ら味わって聴いたりする。	主体的、協働的に表現および鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	高校音楽のスタート	(歌唱) 少年時代 校歌 翼をください 見上げてごらん夜の星を	a:様々な形態による歌唱表現の特徴を理解している。 b:リズム、旋律を知覚し、どのように歌うか表現意図をもっている。 c:関心をもち、主体的協働的に活動に取り組もうとしている。	発表	発表 観察	発表 観察
	和楽器に親しもう	(歌唱) 安里屋ユンタ こきりこ ソーラン節 (鑑賞) 能「石橋」	a:文化的歴史的背景にふさわしい発声を理解している。 b:リズム、旋律を知覚し、どのように歌うか表現意図をもっている。 c: 関心をもち、主体的協働的に活動に取り組もうとしている。	発表	レポート	発表 観察
二学期	リコーダーを演奏しよう	(器楽) c･a･f･f･e･e 見上げてごらん夜の星を	a:曲想や音色とリコーダーの奏法の関係を理解し、演奏する。 b:リズム、旋律、ハーモニーを知覚し、どのように演奏するか表現意図をもっている。 c: 関心をもち、主体的協働的に活動に取り組もうとしている。	発表	発表 観察	発表 観察
	世界の様々な音楽の魅力を知ろう	(歌唱) アリラン 野ばら(シューベルト) O sole Mio (鑑賞) アリラン	a:文化的歴史的背景にふさわしい発声を理解している。 b:リズム、旋律を知覚し、どのように歌うか表現意図をもっている。 c: 関心をもち、主体的協働的に活動に取り組もうとしている。	発表 ワークシート	発表	発表 観察
三学期	表現を工夫した合唱を楽しもう	(歌唱) 野ばら(ヴェルナー) おんがく (鑑賞) ミュージカル「キャッツ」	a: 様々な形態による歌唱表現の特徴を理解している。 b: リズム、旋律、ハーモニーを知覚し、どのように演奏するか表現意図をもっている。 c: 関心をもち、主体的協働的に活動に取り組もうとしている。	発表	発表	発表 観察

※令和４年度以降入学生用

	一・二学期に学習した様々な音楽を踏まえて創作にチャレンジしよう	（創作） 　俳句を使った音風景 （鑑賞）（歌唱） 　小さい秋みつけた	a:音を連ねたときの音型を表現したいイメージとともに理解している。 b:俳句を理解し、知覚し、どのように音楽表現するか意図をもっている。 c:旋律、俳句に関心を持ち、主体的な創作活動に意欲を持っている。	発表 作品	発表 レポート	発表 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度